

63. 書類とホコリが風に舞うほど職員室の机上が雑然としているのに、教室で「明窓浄机」を説く教師
64. 厳冬期、寒風冷気が教室に忍び入るのも頓着せず、戸を開けっ放しにしたまま職員室に急ぐ教師
65. 子どもが職員室に来て、大きな声で「失礼します。〇〇の用事で……。」と伝えているのに、無反応の教師
66. 学校で教師と児童・生徒との関係において起こるべきことを、塾の講師や家庭教師に委ねている教師
67. 教師である自分は常に正当で、絶対と過信し、非は他者にあると決めつけて我が身を省みない教師
68. 身近にいる同僚教師の優れた教育実践から、教師としての在り方や勘どころを学び取るうとしない教師
69. 若い教師に、研修会では身に付かない指導のこつを、日頃の教育実践を通して伝授しないベテラン教師
70. 給食中、両肘をつけてベチャベチャ食べたり、ご飯粒をあちこちにこぼしたりする教師と保育士
71. 「忙しい。忙しくて大変、大変。」が口癖で、忙しさを口実にやるべきことをやらない教師と保育士
72. 子どもの姿や日々の教育・保育実践から学ばず、日常的な研修と自己研鑽を積まない教師と保育士
73. 問題を自分一人で抱え込み、学校・保育園全体の問題として共有しようとするしない教師と保育士
74. 速やかな報告と連絡、相談をせず、対応が後手後手に回り、問題をこじらせてしまう教師と保育士
75. 学校に集うすべての人の誠実な頑張りによって、自校が「今」を維持していることへの感謝を欠く校長
76. 転任時の引き継ぎがいかにも形式的で、その学校独自の教訓や知恵、良き伝統が伝承しない学校
77. 何様でもあるまいし、己の人品骨柄の卑しさを棚に上げ、大人社会の体たらくを嘆く教育相談員
78. 自分ほろくにできもしないのに、求められてもいないことをしたり顔で提言し、悦に入る教育相談員
79. 論文の盗用やデータの改ざん、研究費の不正受給などによって、「学問」を自ら貶める大学教授と研究者
80. スポーツマンシップを掲げながら、スポーツを権力・利権争いの具とし、パワハラがはびこるスポーツ界
81. 確かに学校を指導し、改善を促したという痕跡残しのような通達行政に明け暮れる教育委員会
82. 報告すると、天に向かって唾を吐いたような指導を返し、学校を板挟みの窮地に追い込む教育委員会
83. 教育はサービスであり、児童・生徒と保護者は顧客である、と臆面もなく指導する教育委員会
84. 繁忙な学校業務削減のための資料作成によって、働き方改革に逆行する残業を強いる文部科学省
85. 道徳の教科格上げなど、道徳教育の重点化を図る一方で、組織的な天降りと隠蔽工作を続ける文部科学省
86. 教師に免許更新義務を課し、学校教育荒廃の全責任が教師にあるかのように巧みにアピールする政府
87. 広島・長崎への原爆投下、福島原発事故という核の大惨事を体験しながら、核に対するノーに及び腰の政府
88. 唯一の戦争被爆国で、非核三原則を表明しながら、某国の反対によって、核兵器禁止条約を批准しない政府
89. 平然と嘘をついたり、白を切ったりして、責任をのりくらりとかわす厚顔無恥な政治家と官僚
90. 子どもの事件が起こると、学校を扇動的に叩き、事件の本質的な要因や課題を報じないメディア
91. 学力と新聞の相関関係を、新聞を讀むと学力が向上するという因果関係に置き換えて報道する新聞
92. 社はよりも営利を優先し、「社説」に著しく反するヘイトな、礼を失する言葉が並ぶ広告を掲載する新聞
93. 夜の盛り場で、ネクタイとたがの緩んだ酔客に時の教育問題を語らせ、「街の声」とするテレビ局
94. 相次ぐ学校内の銃乱射事件を防止するため、教師に銃を所持させる、と広言した某国大統領
95. 電子映像メディアの驚異的な普及によって、子どもから「人や自然との触れ合い」を奪った情報化社会
96. 学力は、学校と家庭、行政、地域の教育力の総合によるものにもかかわらず、学校にのみ責任を求める社会
97. 我欲や保身、身勝手、体たらく、無責任などに基因する嘆かわしい出来事が次々に起きる大人社会
98. 経済最優先の論理で成立し、生産性の低い弱者が車前草のように端っこに追いやられる社会
99. 施設における高齢者虐待や老人の痛ましい事件・事故が続発し、長寿を素直に慶べない社会
100. 何となく何かがおかしい、どこかが変だ、というしつこくからみつくような不気味さと不安を覚える社会
- お世話になりました。  
 ありがとうございました。  
 お名残惜しゅうございます。  
 ……が、さようなら。  
 お元気で。